

七里地区  
社会福祉協議会

【発行】  
会長 山田 長吉  
【編集】  
広報部

〒337-0014  
さいたま市見沼区大谷2022-1  
(敬寿園七里ホーム内)  
電話・FAX 048-687-9997  
<http://7sato.sakura.ne.jp/>  
E-mail: nanasato-shakyo@nifty.com

# いなほ



第 37 号

## 七里ふれあいサロン

主催 七里地区社会福祉協議会 共催 七里コミュニティセンター



大谷中学校 吹奏楽演奏



一緒に歌おう!

九月二十七日(日)七里コミュニティセンターにおいて、恒例の「ふれあいサロン」が開催されました。マリンバ・ピアノ演奏と大谷中学校吹奏楽部の素晴らしい演奏が行われました。  
最後に、歌声サロン指導者、杉原先生の指揮により会場の皆さんといっしょに合唱し、終演となりました。  
秋のひと時を優雅な気分で過ごすことができました。

七里ふれあいサロン  
第37回  
大谷中学校吹奏楽演奏  
マリンバ・ピアノ演奏  
300人参加



**第二部**  
**大谷中学校 吹奏楽演奏**

吹奏楽部二十七名による演奏で、今年の学校コンクール課題曲、マーチ「春の道を歩こう」、演歌メドレー（北国の春・北酒場・川の流れるように）など、リズムに乗って元気よく、すばらしい演奏でした。

木管六重奏などのアンサンブルコーナーでは、それぞれの楽器の良さを發揮して演奏してくれました。

会場からは演奏に併せ、拍手もあり会場の皆さんも盛り上がりました。



**第二部**  
**マリンバ・ピアノ演奏**

マリンバ・プロムナーズによって皆さん聞き覚えのある谷村新司の「昴」から演奏が始まりました。歌劇カルメンよりジプシーの踊り・闘牛士の歌、宮崎駿のジブリメドレーなど、マリンバとピアノの楽器だけとは思えない演奏です。選曲の素晴らしさに、自然と曲の世界に引き込まれました。



大谷中学校吹奏楽部の皆さんも池辺先生の演奏に聴き入っていました。パチ四本を使いこなした全体で演奏する姿に見とれ、マリンバのハーモニーの美しさを思う存分楽しむことができました。



**「一緒に歌おう」**

最後に、歌声サロン指導者の杉原先生の指揮によりマリンバとピアノの伴奏で会場の皆さんにより合唱しました。

「かわいいかくれんぼ」・「みかんの花咲く丘」「ちいさい秋見つけた」「見上げてごらん夜の星を」を会場の皆さんと一緒に歌い、とても楽しいひと時でした。夜には、皆さん十五夜の月を満喫したことでしょう。



# 平成二十七年「敬老会」

今年も各自治会において盛大に敬老会が開催されました。長寿を祝い、地域における見守りの一助として定着しています。今後、益々高齢者が増大してまいります。皆様がこの七里地区において健康で生き生きとして過ごしていただけるよう社協としても様々な工夫をしてまいります。

## 東宮下第一自治会

### 会長 島村康平

東宮下地区敬老会は、長寿を祝って毎年自治会主催により農民センターで実施しております。

対象の方々は、年とともに増えて、本年は三一九名に達し、市及び地区社協からの助成金で記念品（タオルセツト）を全員に配布しました。

敬老会には、四〇名程の方々に参加して戴きました。

当日は、午後三時に開会、恒例にな



風渡野第一自治会



東宮下第一自治会

っているセレモニーから始まりアトラクションとして、内田様による紙芝居「岩槻のむかし話」の後編を四〇分程度演じて戴きました。内容は慶長十三年から明治四年までの岩槻藩主を中心とした物語を自作の絵を使ってお話されました。

懇親会場では、赤飯、酒、さかな、おつまみ等お年寄りの好物を並べて、ビールで乾杯し、昔ばなしに花を咲かせ、ベーゴマを楽しみ、閉会は午後五時半を回っていました。

皆さまの健康を願っております。

## 東宮下高層自治会

### 会長 宗像秀一

敬老の日を終えて

九月二十一日の敬老の日、七五歳以上の方々に、敬老記念品として赤飯と紅白饅頭、可愛らしいクリスタルカップをお配りしました。

どの方も受け取った時は、ニッコリホッコリ笑顔で喜んでくださったのが印象的でした。自治会の役員としては良かったと胸をなでおろしているところです。

はじめは自治会所属の一三〇人の敬老対象者をどうお祝いでよいやら役員全員で戸惑いましたが、一応自治会で出来る精一杯の事はできたと思っています。

我われも含めてだれでも歳をとっていくものですし、年に一度の敬老の日だけでなく、誰かが常日頃から身近なお年寄りの方々と接し、声を掛け合っで楽しく過ごするのが大変大事なのかと改めて考えています。

今後は、もっと何か工夫していこうと思っています。

## ライオンクラブ大宮七里自治会

### 会長 新井正典

当自治会は、敬老会を開催したいと思っておりますが、会場の確保が大変難しいため、毎年記念品をお配りすることにしております。

今年も対象者の方々七名にカタログ

をお配りいたしました。

手渡しをいたしまして、皆様の元氣な笑顔を拝見出来たことは、うれしく思います。

今後対象者も毎年増えることを考え、会場を確保して敬老会を開催したいと考えています。

## 各地区別敬老会対象者数

七里地区の七十五歳以上の敬老会対象者は、次のとおりです。

- ◇膝子 九二名（九一名）
- ◇大谷 一、二〇三名（一、〇〇名）
- ◇蓮沼 九一三名（八六六名）
- ◇風渡野 五八七名（五六四名）
- ◇東門前 三九八名（三七六名）
- ◇東宮下 六九〇名（六四六名）
- ◇新堤 五〇五名（四七五名）
- 合計 四、三八八名（四、一一八名）

（四、一一八名）

（ ）内は昨年の対象者数  
対象者に対しては、さいたま市及び七里地区社協から自治会に補助金が交付されています。

## 一〇〇歳以上の方

- 一〇四歳 東門前
  - 一〇三歳 風渡野
  - 一〇一歳 東門前、恵の里
  - 一〇〇歳 大谷、蓮沼、新堤②
- 恵の里

の合わせて九名です。全て皆さん女性です。

いつまでもお元氣でお過ごしください。

### 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターの活動・役割とは  
認知症の理解と地域支援の必要性

五〇名参加

九月十日(木)、敬寿園七里ホーム  
において開催しました。

認知症は誰にも起こりうる脳の病気  
によるもので、八五歳以上では四人に  
一人にその症状があるといわれていま  
す。

超高齢社会をつき進む日本にとって  
最重要課題の一つとなっています。

そこで、正しい知識を習得し、自分  
のできる範囲で認知症の人や家族を見  
守り、安心して暮らせるまちを目指し  
て、一人でも多くの方々が、認知症の  
人や家族の応援者として活躍されるこ  
とを願って行われました。

#### 講座を受講して

民生児童委員 川村憲二

#### (講座の進め方)

これまでも種々の講演・講座等に出席する機会がありました。いずれも、もっぱら聴き手、一聴衆に徹し、時には「なるほど」とその演目の内容に満足して会場を後にすると云うのが常でした。

ところが当講座は、会場に入った瞬間、そんな思いを一変させるものでした。会場内ではグループごとに着座するように机と椅子が配置され、グループでの対話、討議を想定した会場づく

りになっていました。その様子に私はまず、主催者側の当講座に対する意気込み、熱意を感じ取ることができたと同時に、すこしオーバーな表現になりますが、自分の気持ちを引き締め、全力で当講座に臨もうと決意した次第でした。



#### (グループ討議)

最初に、私達が日常生活で認知症の人と接した際の対応について、具体的に映像にて三例(良い例、悪い例を比較)を学び、次に民生委員や自治会役員等として、地域で私達が認知症の人たちに何ができるかについて、グループ討議し、それぞれ発表がありました。

私たちのグループの結論は、平素のそれぞれの活動の中で、認知症の人を

発見した際、手助けをしてあげようとしても、その対応がうまくできないことがあることから、それぞれの日常の活動の中で、実態に応じた研鑽を積んでいくことが大切であるということでした。



#### (認知症サポーターに)

本講座修了に際して、埼玉県認知症サポーター証とオレンジリングを頂戴しました。認知症サポーター証の裏面には、認知症の人への対応の心得の記載がありました。この心得の内容が、まさに本講座での私達グループの目指

した結論でもあったのです。

私の居住する地域でも、一見して認知症と思われる人が増えているのは事実です。しかし、これまでは、相手側の予想外の反応に対応できなかったという経験などから、つい声掛けすら躊躇しがちでした。これからは、認知症の人たちへの対応の心得をマスターし、自信を持って認知症の人たちの手助けをしたいと思えます。本講座はその機会を与えてくれました。



#### 認知症の人への対応の心得

##### 3つの「ない」

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

#### 具体的な対応の七つのポイント

- 1 まずは見守る
- 2 余裕をもって対応する
- 3 声をかけるときは一人で
- 4 後ろから声をかけない
- 5 相手に視線を合わせて やさしい口調で
- 6 おだやかに、 はっきりとした話し方で
- 7 相手の言葉に耳を傾けて ゆっくり対応する



毎年、夏休み期間を使って、地域の子どもたちの交流を促進するため、夏休み子ども講座を開催しています。普段は、同じ学校・学年の友達同士の付き合いが多くなりがちです。

そこで、子どもたちが大変好きな「昆虫」をはじめとした地域の自然・生物を、地域の子ともたち同士で学びながら新たな発見に感動しています。

また、絵画の作成を通して、楽しみながら自由な自己表現方法を学びます。

夏休みの宿題作成にも役立ち、一挙両得となっています。

こうした機会を通じて、地域の仲間づくりが進んでくれることを期待しています。

今年のテーマ

1 「昆虫のおはなし」

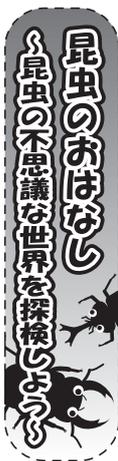
〜 昆虫の不思議な世界を

探検しよう〜

〜 虫の生態を学ぼう〜

2 「絵画教室」

〜 夏休みの絵を描こう〜



〜 虫の生態を学ぼう〜

三十八名参加

八月六日（木）、七里公民館レクホールにおいて開催しました。

今年も、安東先生、萩原先生に加え、蜂の専門家草間先生をお招きしてお話が行われました。

また、アース製菓の協力を得て、世界の珍しい大クワガタ虫や光るゴキブリなどを見ることもできました。さらに、萩原先生がいろいろな所に出掛け採取した昆虫の標本も展示されました。プロジェクターを使い、セミの鳴き声を聴いて種類あてクイズやセミの鳴く様子、体の中などを観察することもできました。

また、蜂の巣が木の皮やロウで出来ていること、ロウからリップクリームやハンドクリームが出来ることも学びました。

実際にハンドクリームを手に塗ってみました。



ハンドクリーム

特に参加者が驚いたことは、蜂の子を食べたことです。これは、なかなか経験の出来ないことです。実際に蜂の巣から幼虫を抜き出し、お尻から糞を抜き出してフライパンで調理して試食しました。会場は大騒ぎ。おいしいと言っ子もいれば、ぐちよぐちよとして気持ち悪いと感想を述べた子もいました。大変貴重な体験ができたことと思います。

この講座は、夏休みの自由研究のお手伝いとして始められました。子ども達の理科離れがさげばれる中、生き物の不思議さ、生命の大切さ、環

境の変化などに一人でも多くの子どもに興味をもってもらえるよう工夫しています。



ハチの子を食べてみよう!



二十五名参加

七月三十日（木）七里公民館レクホールにおいて、新井壽代先生による絵画教室が開催されました。

道具の使い方や色の塗り方をはじめ、絵を描く上での大切なポイントを指導していただき、参加された皆さんそれぞれの個性を發揮した、大変素晴らしい作品が仕上がりました。絵を描くポイント

- ・ テーマを決めて書く
- ・ 自分の思いや考えを伝える
- ・ 得意なもの・好きなものを書く
- ・ 下描きを大切に、丁寧に
- ・ 形は大きく、色は明るくはっきりと
- ・ 仕上げをしつかり
- 色の塗り方
- ・ 色の計画（どこにどの色を塗るか）
- ・ うすい・あわい色、広い所
- ↓ 濃い色、強い所、細かな所
- ・ 絵具などの道具はきき手側に置く
- ・ パレットの小さい所に一色ずつ

広い所でまぜる

（色えんぴつ・水性マーカー）

仕上げは丁寧に 隅をよくぬる



基本は正しいあいさつから



### 民生委員の活動ケース

担当民生委員をご存知ですか？

七里地区の単身高齢者に「緊急時安心キット」が、平成二十二年十二月から配布され五年になろうとしています。

このキットには、本人の健康情報や緊急連絡先、現在服用中のお薬や掛かり付けの病院名などを入れておきます。こうすることにより、救急隊が来られた時に大変役に立ちます。普段から自己管理に努められ、すばやく対応できるように、いつでも準備しておくことが自分を助けることにつながります。こうしたことから、民生委員が該当者を訪問して内容更新を勧めております。

さらに、高齢化が進んでいく中、高齢者をだます悪者が後を絶ちません。「オレオレ詐欺」等の電話など、おかしなことや思っていることがありましたら、警察、民生委員、友人に連絡をしましょう。また、身近にいつでも連絡できる知人がいると大変心強いものです。

皆様方は、自分の担当民生委員を知っていますか。高齢化が進んでいく中で、民生委員とのコミュニケーションを図っておくと「いざ」という時に大変役に立ちます。

民生委員は地域の方々の福祉向上に欠かすことの出来ない方々です。

都合により民生委員を選出されない自治会は速やかに選出していただきますようお願いいたします。

原稿 広報部長 山川好英

### 緊急時安心キットとは

「いつも通っている病院」や「緊急連絡先」などの情報を専用の容器に入れ、各家庭の冷蔵庫に保管するものです。

これにより、病气やけがなどで救急隊が駆け付けた時に、容器の中の情報を確認して、病院への速やかな搬送につなげることができます。申請により無料で配布しています。

#### 「配布する対象者」

市内にお住まいの六五歳以上の方、障がい、難病や持病のある方

※原則一世帯に一式配布

#### 「受け取る場所」

- ・各消防署・消防出張所
- ・区役所（高齢介護課・支援課 保健センター）、保健所

の窓口で申請により配布しています。※本人でなくても代理の方（家族や近所の方など）による申請でも受け取れます。

#### 「緊急時安心キットに入れるもの」

##### 1 緊急情報シート

（氏名、生年月日、緊急連絡先、通院病院名、その他救急隊に伝えたい事項などを記入したもの）

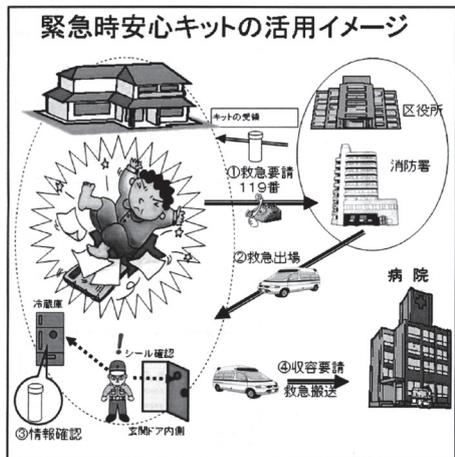
##### 2 写真（裏に名前を記載）

##### 3 保険証（写）

##### 4 主な診察券（写）

病院や薬局などで受領しているお薬情報（写）など

※災害時でも、緊急時安心キットを避難所等へ持ち出して、情報を活用することができます。



### 民生委員・児童委員とは

核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障がいのある方、高齢者などが孤立し必要な支援を受けられないケースがあります。

そこで、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めています。

### 主任児童委員とは

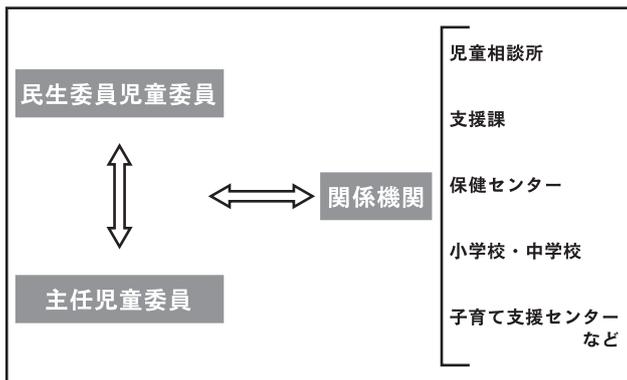
児童に関する相談・支援を担当しています。

いじめや子育て不安などの相談に応じ、児童相談所や学校などと連携し、児童に関する専門的知識・経験を活かして活動しています。

七里地区の主任児童委員は二名です。

#### 主任児童委員の役割

- 1 子どもの福祉に関連する機関と民生委員児童委員との連絡調整
- 2 民生委員児童委員の活動に対する援助・協力
- 3 民生委員児童委員と一体となって行う、乳幼児をもつ親の子育てに関する活動や児童の福祉に関する活動



### 赤い羽根街頭募金

募金額 三一、七八三円

十月一日から全国一斉に赤い羽根募金を実施されるのに併せて、二日(金)当地区社協も「七里駅前」・「コモディイイダ七里店頭前」・「フードガーデン七里店頭前」において街頭募金を行いました。



見沼区長・福祉部長も参加し、夕方の帰宅と夕食の買い物時間に合わせに行いました。  
子どもたちをはじめ、買い物・勤め帰りの方など沢山の温かいご協力により多くの募金が集まりました。早々、共同募金会に振り込みさせていただきました。



地区社協役員・民生委員・大谷作業所「ななくさ」の皆さんなど二十三名の他、市社協見沼区事務所職員の皆様の協力を得て行われました。ありがとうございました。



### 赤い羽根・歳末たすけあい募金にご協力を

現在、赤い羽根・歳末たすけあい募金を全国一斉に実施しております。

この共同募金は、地域福祉を推進することを目的として、自分たちの住む地域を自らの手で、誰もが安心して暮らせる街にするために、子育て支援、高齢者見守り活動など身近なところで役立てられています。

あたたかいご協力をよろしくお願いいたします。



### 平成二十七年 さいたま市社会福祉大会

会長表彰(個人)

園芸サロン指導者

船越亮一

長年に亘り、社協主催の園芸サロンの指導や地域各地の植生の鑑賞会、さらに、七里公民館の樹木剪定などのボランティア活動を定期的に行っていました。

こうした長年に亘るサロン活動を通じて、参加者どうしの交流の促進と見守り活動を推進してこられました。おめでとうございます。



### 平成二十七年 さいたま市社会福祉協議会 特別賛助会員への加入

- (株)タムロン 一口 一万円
- (株)七里ハウジング 一口 十口
- 日本ハム東販売(株) 一口 一口

ご協力ありがとうございました。

みんなで進める地域の福祉

賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で最も重要な財源となっています。

一人でも多くの方に活動の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

年間を通じて募集しています。

ご協力いただける方は、当地区社協事務所へご連絡ください。

皆さまからの賛助会費は、次のような事業の財源として活用させていただきます。

- ・地域福祉活動のために
- ・家事援助(あおぞらサービス事業)のために
- ・ボランティア活動推進のために
- ・ふれあい会食推進のために
- ・福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートさいたま)のために
- ・相談事業(心配ごと相談)のために

◇ お知らせ ◇

※詳細は地区社協事務所まで

**福祉教養講座Ⅰ**  
災害時高齢者生活支援講習  
災害時気をつけたい病気や症状。  
知って役立つ技術等

**日時** 十一月十三日(金)  
九時三十分～十二時

**場所** 敬寿園七里ホーム  
多目的スペース

**講師** 日本赤十字社  
埼玉県支部

**持ち物** 浴用タオル二枚  
スーパリーのレジ袋  
折り込み広告・風呂敷  
飲み物・上履き・筆記用具

**ふれあいウォーキング**  
七里～中川文化財コースを歩く

**日時** 十一月十日(火)  
九時～十五時

七里公民館玄関前集合  
雨天の場合中止

**コース** 七里公民館～  
合併記念見沼公園  
約九km

**持ち物** お弁当・水筒・敷物、帽子  
バス代 約二〇〇円



**子ども書き初め会**

**日時** 十二月二十五日(金)  
一部 九時三〇分～  
十一時三〇分  
二部 十三時三〇分～  
十五時三〇分

**場所** 七里公民館 レクホール  
冬休みの課題

**内容** 「書き初め」作品制作  
小三～中三まで

**持ち物** 書き初め用道具一式  
新聞紙、用紙、上履き

**ふれあいコンサート**

**日時** 十二月六日(日)  
十二時三十分～十五時

**会場** 七里コミュニケーションセンター  
多目的ホール

**内容** 東京マンドリン  
宮田楽団の演奏

埼玉大学アカペラサークル  
エレクトーン演奏と  
みんなで歌おう



**ふれあい会食**  
ボランティア募集

ひとり暮らしの高齢者を対象に、  
七里公民館で毎月第四金曜日に行  
っている『ふれあい会食事業』の  
食事作りをするボランティアを募  
集しています。

**内容** 食事づくり

**活動日** 毎月第二・第四金曜日  
(八月を除く)

**活動時間** 第二金曜日(試作)  
九時二十五分～十二時  
第四金曜日(本番)  
九時十五分～十四時

**活動場所** 七里公民館 実習室  
原則七里地区在住者

**対象者** 募集人員 十名程度(随時募集中)

**申込み・問合せ先** 七里地区社協  
TEL 六八七一九九九七





**七里地区社会福祉協議会事務所**

**開設日時** 月曜日～金曜日  
平日 十三時～十八時

**TEL・FAX** 六八七一九九九七

各自治会の敬老会事業の様子や夏休み子ども講座、認知症サポーター養成講座等の記事を掲載いたしました。地区社協ではこうした様々な事業を開催しています。

毎月発行している「いなほミニ通信」や「ホームページ」等に事業の案内を掲載していますのでご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしています。

ご意見・ご要望がありましたら、地区社協事務所までお寄せください。

◇ 編集後記 ◇